

講義名	対)ブライダル事業論			
担当教員	石橋 仁美			
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限	授業形態	講義	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考
主題と概要				
ブライダルビジネスに興味があり、将来ブライダル関連産業で働くことを目標としている学生に、事業としてのブライダルを学びます。サービス業を代表する業態の一つとしてブライダル産業があります。ブライダル産業は、この25年で大きく変わり、事業内容も日々進化しているといえます。今のトレンドを知り、これらの事業について学ぶことは、これからの事業構築のヒントを知ることができるのではないります。今人気のブライダル会社の上位10社を見てわかる通り、設立20年前後の若い会社が多いのが現状です。また、異業種からの参入も多く見受けられます。ウエディングケーキコンテストを一つの事例として、企画・広報の手法を学び、理解を深めていきます。ブライダル業界に就職を希望する学生だけではなく、すべての学生にとって、起業や経営の視点から、自分自身のスキルの向上とキャリアを考える機会になります。ケーキコンテストは、6月中の土曜日に行う予定です。				
到達目標				
この科目は、「対面型」で実施します。到達目標の達成のためには、授業形態の関係上、対面での授業が望ましいためです。「オンデマンド型」ではありませんので、時間割通りの時間に指定された教室で授業に参加してください。なお新型コロナウイルス感染者及び濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生には個別に対応します。 1. ブライダル事業者の歴史を理解し、様々な業種を知り、現状分析をする力をつけることができるようになる。 2. 経済とブライダル業界の関係を知り、業界の将来に新しい視点を持つことができるようになる。 3. ウエディングケーキコンテストの企画立案することにより、論理的思考と柔軟な発想を培うことができるようになる。 4. 「思い」を「カタチ」にするために、プレゼンテーション能力を身に付けることができるようになる。 5. グループワークを通、自分の役割を果たし、仲間とのコミュニケーション能力を培うことができるようになる。				
提出課題				
神戸のスイーツの歴史について レポート ウエディングケーキコンテスト企画 企画書提出 課題レポート（PowerPointにて発表）				
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック				
レポートおよび小テストを行います。 それにより授業で学んだことの理解度を測ります。 小テストに関しては、次の授業でフィードバックします。				
評価の基準				
小レポートまたは小テスト 5点×6回 30点 企画書 10点 課題レポート 20点 期末試験 30点 授業への参加意欲 10点 授業はグループワーク・ディスカッションを多く取り入れていますので、自ら進んで取り組み、自分の意見をもってに取り組んでください。				
履修にあたっての注意・助言他				
ブライダルに関連するニュースや記事など、普段から関心を持ってください。 授業で、必要に応じてプリントを送りますので、配布資料は、フアイリングしてください。 定期試験は資料・レポートなど持ち込み可です。 常に問題意識を持って、自分の意見を述べるようにしてください。 何か不明なことがあればメールで質問してください。 hitoni_shibashi@red.ums.ac.jp				

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

授業の内容は、適時配布される資料レジュメにて行います。

参考文献　：　公益法人日本ブライダル振興協会発行のブライダルコーディネーターテキスト(2800円)
ブライダルコーディネーション論　で使用したものです。

授業計画

ガイダンス
現代におけるブライダルの概要
ブライダルの意義・歴史
イベント企画　グループワーク
・ケーキコンテスト　企画・立案
イベント企画　グループワーク
・ケーキコンテスト準備　実施にむけて告知広報について
神戸におけるスイーツの歴史、ウエディングケーキの歴史
・地域の中のスイーツ産業発展の経緯を知る/観光と産業の関係
婚礼業界と経済
・出生率・婚姻率・未婚率・婚姻件数の動向などを知る
ブライダル関連産業について知る
・様々な業種、業者について知る
ケーキコンテスト集計およびケーキ作家へPowerPointにてプレゼンテーション
・日本の結婚式・外国の結婚式　トレンドを引っ張るものは何か
今人気のブライダルスタイル
・婚礼が行われている場所、それぞれの特徴を考える
ウエディングプランナーの仕事を知る
・DVDから大まかな流れを知る
ケーキコンテストをプランニングする　（準備）
・司会・進行・音楽など担当決め
ケーキコンテスト　プランニングする　（実施）
・流通科学大学にて、6月土曜日予定　PowerPointにて発表
ケーキコンテストの振り返り
・多様なブライダル産業について理解を深める
ブライダル事業におけるホスピタリティの重要性
・サービスとは何か・ホスピタリティの言葉とは何か
ブライダル事業の今後　ブライダル事業から発展した企業
・どのような変化が考えられるか
・婚約中のマーケティングとは何か

授業形態（アクティブ・ラーニング）

☐ ア：PBL（課題解決型学習）	☐ イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐ ウ：ディスカッション、ディベート	☐ エ：グループワーク
☐ オ：プレゼンテーション	☐ カ：実習、フィールドワーク

※：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の次の授業についてアナウンスをします。そのテーマに基づいて予習をして来てください。
講義は、グループワークやディスカッションに中心におこないます。意見をもって授業に参加してください。
ケーキコンテストでは、皆さんにもケーキのデザインを考えて来ていただきます。（予習：180分程度）
講義の際は、充電済みのパソコンもしくはスマホを持参してください。
講義後、グループや自分に意見を取りまとめておいてください。（復習：90分～120分程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この授業は、ブライダル事業を通して、組織・会社について学び、就業に必要な知識を身に付けます。
またウエディングケーキコンテストの企画・運営により、職業としてとらえ、課題を解決し自ら考える力を養い、そこからさらに新たなアイデアを生み出すことを目的としております。
また、企画実行を通じて、ホスピタリティとコミュニケーション力・提案力・マネジメント力を身に付けることは、本学の学位認定・学位授与の方針と一致します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

レポートについては、個人での発表およびグループワークで発表をさせていただきます。
自分の意見を持ち、自分の意見を自分の言葉で述べ、PowerPointを使って表現できるようにします。
教師からの講義だけではなく、学生同士のディスカッションにより、新たな発見や他者への理解を深めます。
特にケーキコンテストでは「お互いから学ぶ」、「他社との違いを認めること」ができるようになります。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
銀行の役員秘書、派遣会社のスタッフ教育などのビジネスマナー教育及びハウスのウエディングプランナー経験やホテルブライダルでのマネジメント経験から、社会人としてすぐに役立つ知識を身につけ、大学でしか出来ない体験に活かします。

備考

アルバイトを選ぶ際、ブライダルにつながるものを選ぶと、一層身につきます。